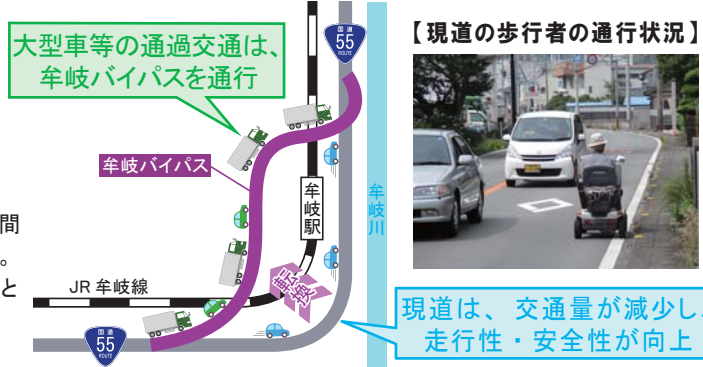


整備効果

安全でスムーズな交通が実現

より快適で安心な暮らしにつながります。

牟岐町市街地部の国道55号は、道路幅員が狭い上に、歩道未設置の区間が点在しており、歩行者や自転車にとって危険な状況となっています。牟岐バイパスが整備されることで、通過交通の経路転換が見込めることから、現道の交通量が減少し、歩行者や自転車の安全性が向上するとともに、交通の円滑化が図られます。



医療機関へのアクセスが向上

県南地域住民の安心できる暮らしを確保します。

牟岐バイパス沿線に県立海部病院が移転し、病院へのアクセス性が向上します。また、徳島赤十字病院等への救急を含む高度医療の受診の際も、日和佐道路や阿南道路を利用することにより、県南地域から県中心部への所要時間が短縮し、県南地域住民の安心できる暮らしを確保します。



※この地図は、下記の時点での情報をもとに作成したものである。
第三次救急医療施設：H26.4 分娩取扱医療施設：H27.5

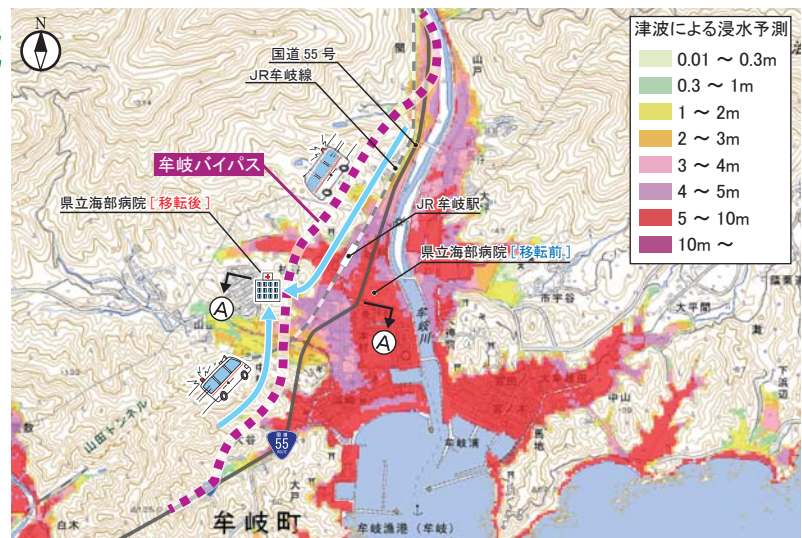
災害時における代替路・緊急輸送道路として機能

災害時における国道55号の代替路線となり、救急活動や物資搬送を支援します。

現道の国道55号は、第1次緊急輸送道路に指定されていますが、牟岐町市街地において、津波による浸水被害を受けると予測されています。

津波の影響を受けない牟岐バイパスは、救急活動や物資搬送を支援する災害時の代替路として機能することが期待されます。

特に、災害拠点病院である県立海部病院が牟岐バイパス沿線に移転することから、津波襲来時においても同病院へのアクセスは確保されます。



※津波による浸水予測は、徳島県津波浸水想定（H24.10.31公表）によるものである。



国土交通省 四国地方整備局
徳島河川国道事務所

〒770-8554 徳島県徳島市上吉野町3丁目35
電話:088-654-2211[代] <http://www.skr.mlit.go.jp/tokushima/>

2016.03.1.000



このパンフレットは、高品質を実現しています。地球にやさしい大豆インキを使用しています。



国土交通省 四国地方整備局
徳島河川国道事務所

概要

徳島県南部地域を縦貫する国道55号は、徳島市と高知市を結ぶ延長約200kmの主要幹線道路であり、県民の生活や経済、観光振興に大きな役割を果たしています。

一方で、牟岐町市街地部では、南海トラフ地震時の津波による浸水被害が予測されながら、他に代替となる路線がないなどの課題を有しています。

牟岐バイパスは、南海トラフ地震による津波浸水想定区域を回避し、緊急輸送道路の機能を確保することで、安全性・信頼性の高い広域道路ネットワークを構築するとともに、災害拠点病院(県立海部病院)の高台移転、避難広場の整備など、地域の防災まちづくりと一体となった整備により地域の津波・地震対策を支援することを目的とした延長約2.4kmの道路です。

計画諸元

事業名	一般国道55号 牟岐バイパス		
計画区間	徳島県海部郡牟岐町川長	～	徳島県海部郡牟岐町中村
計画延長	2.4 km		
構造規格	第3種第2級	車線数	2車線
設計速度	60 km/h	標準幅員	8.0m

一般国道55号 牟岐バイパス 延長2.4 km

